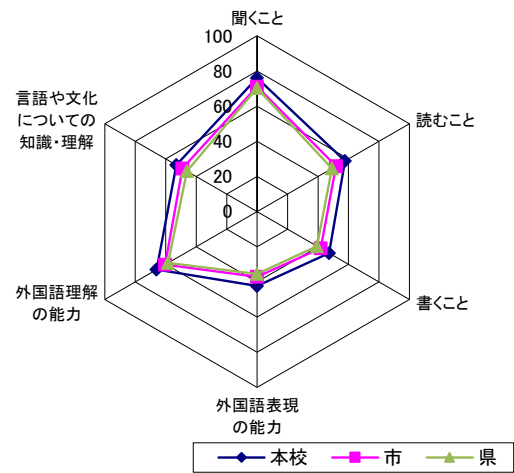


宇都宮市立星が丘中学校 第2学年【英語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	聞くこと	76.0	71.1	70.2
	読むこと	57.7	51.8	49.1
	書くこと	47.2	41.8	39.4
観点	外国語表現の能力	42.3	37.1	35.5
	外国語理解の能力	66.0	60.4	58.5
	言語や文化についての知識・理解	53.1	49.0	46.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	○正答率は県を5.8%、市を4.9%上回り、設問別では「まとまりのある英語の聞き取り」が80%を越えており、長い英文を聞き取る技能が定着している生徒が多い。 ●「絵に関する英文の聞き取り」においては、市、県を上回っているものの、42%と他に比べると低い正答率となっている。	・授業でのオーラルイントロダクションを効果的にを行いながら、聞きとる力を伸ばしていく。 ・教師と生徒、生徒同士のコミュニケーション活動を多く取り入れながら、相手の話を意欲的に聞こうとする態度を育てていく。 ・ALTを授業の中で効果的に活用し、ネイティブの発音に慣れるさせると共に、コミュニケーション能力を高めていく。
読むこと	○正答率は県を8.6%、市を5.9%上回っており、設問別では「英語の案内などの読み取り」「長文の読み取り」において約60%の正答率となっており、県を10%ほど上回っている。 ●設問別に見てみると、「まとまりのある英文の読み取り」の正答率が県・市を上回っているものの、50%に達していない。上位層と下位層とでは正答率に70%と大きな差が見られる。	・教科書以外の教材を活用しながら、まとまりのある英文の要点をつかませる力を継続的に育てていく。 ・長文に対する苦手意識の強い生徒が多い現状がある。段階的に英文の量を増やししながら、英文の読解に慣れさせていく。 ・長文読解の能力を高めるために、語彙の定着、語順の理解を図る。また、文のまとまりを把握する力を育てていく。
書くこと	○正答率は県を7.8%、市を5.6%上回っている。設問別では「テーマに基づく英作文」では、県・市の正答率を約10%上回っている。 ●他の領域と比較すると、正答率が47.2%と低くなっている。特に、「場面や条件に基づく英作文」では32.1%と低い正答率となっている。	・単文からまとまりのある英文へと段階的な指導を行い、書くことにおける表現力を高めていく。 ・書くことに対する苦手意識を持つ生徒が非常に多く、下位層では正答率が一桁代と、特にその傾向が強い。テーマについて書く活動では、モデルを示し、それに当てはめながら書かせることで英作文に慣れさせていきたい。また、TTなどで個別指導を継続的に実施していく。